

養育論から虐待を考える

社会問題となっている児童虐待。その未然防止及び早期発見には、行政機関以外にも地域からの情報提供や見守りなどの協力が不可欠です。今回はジャーナリストの芹沢俊介氏を講師として迎え、現代家族や学校等が抱える課題について、実際に取材現場から見たものをお聞きし、児童虐待防止のために「親や地域が何をすべきか、何ができるのか」を考える場とします。

2019.11月7日 木 18:00-20:30

府中市市民活動センタープラッツ5F バルトホール

18:00-18:50 養育家庭(ほっとファミリー)体験発表会
・多摩児童相談所による里親制度の説明
・里親さんによる体験発表(相談ブースあり)

18:50- 休憩

19:00-20:30 芹沢俊介講演会

お申込み方法 電話またはFAXでお申込みください。

申込締切 10月31日

託児あり
有料

申込
問合せ 042-354-8700
042-352-2524

主催：府中市子ども家庭支援センターたち
東京都多摩児童相談所
府中市市民活動センター プラッツ



ジャーナリスト

講師 芹沢俊介さん

11月は虐待防止月間です

子ども虐待防止
オレンジリボン運動



芹沢 俊介 ジャーナリスト

1942年東京生れ。1965年上智大学経済学部卒業。文芸・教育・家庭など幅広い分野の評論で活躍。1980年代から家族や親子関係を軸に、現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。我孫子市在住。一男二女の父。「子どものための親子論〈親子になる〉という視点」(明石書店)「存在論的ひきこもり」論 わたしは「私」のために引きこもる」(雲母書房)「子供がキレル12の現場」(共編著・小学館文庫)「ピノコ哀しやーブラックジャック論」(五柳書院 近日発売予定)など多数。

児童虐待かも?と思ったらすぐにお電話ください

いち はや く
189

児童相談所全国共通3桁ダイヤル

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。
お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIP電話からはつながりません。※通話料金がかかります。

子ども家庭支援センター「たち」

子ども家庭支援センター「たち」では、18歳までのお子さんのいる家庭の子育て相談やお子さん自身からの相談など子どもに関するあらゆる相談への対応や子育てに関するサービスや情報提供をしています。

■所在地 〒183-0023 府中市宮町1丁目50番地「くるる」3階(京王線府中駅南口)

※駐車場はありません。公共交通機関、または「くるる」及び近隣の有料駐車場をご利用ください。

■電話:042-354-8700 相談電話:042-354-8701・042-354-8702

■ファックス 042-352-2524

■e-mail kosodate03@city.fuchu.tokyo.jp

■開館時間 年末年始、「たち」臨時休館日を除く午前10時～午後8時

※交流ひろばは午後5時までです。なお、臨時休館日等は「たち」ご利用案内」のページをご覧ください。

お申込みフォーム 上記連絡先にお申し込みください

フリガナ
◆ お名前

◆ TEL
当日連絡がつく連絡先

◆ 託児希望の有無 有 無

お子様の性別 男 女

お子様の年齢 才

※ 1才～未就学児 先着4名 1人500円/回 申込締切10月31日